

(注) PRシリンダーを装着できる錠前には制限があります。詳細は各製品ページおよびP902の一覧表を参照ください。

## 原理

- ① キーを抜き取った状態では図-1に示すように、ロックングバーがスプリングによって外筒の溝に押しつけられています。また、タンブラーは、タンブラーバネによって押されています。この状態で内筒を回転させようとしても、(タンブラーの切欠がロックングバー上方にないため) タンブラーに阻まれて、ロックングバーは上方へ上がることができず、内筒を回転させることができません。
- ② 合カギを差し込むと、タンブラーはキーの刻みによって押しされ、切欠がロックングバーの上方にくるまで回転・整列します。この状態で内筒を回転させようすると、溝とロックングバーとのテーパによって、スプリングに抗してロックングバーが上方に押し上げられ、内筒を回転させることができます。

図-1  
キー抜取時

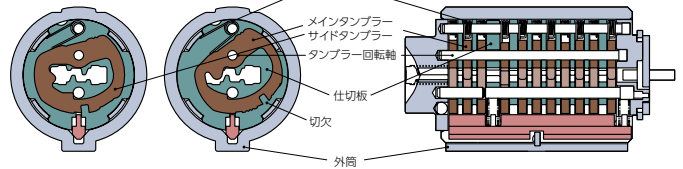
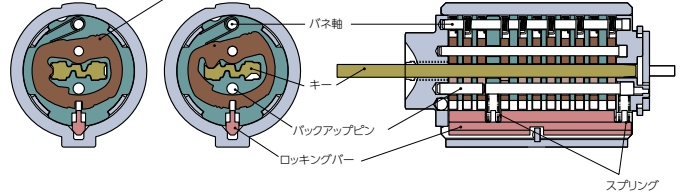


図-2  
キー挿入時

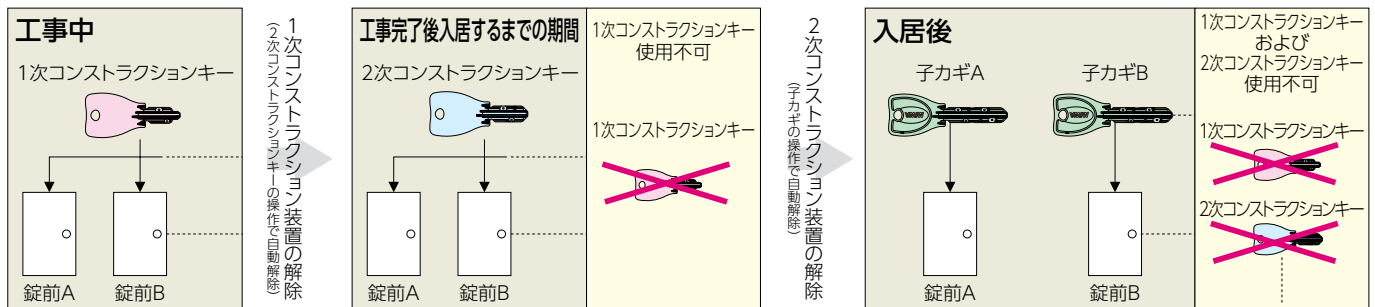


シリンダーの種類

## ダブルコンストラクションキーシステム (D.C.N.K.)

工事完了後から入居するまでの間、工事期間中に使用するコンストラクションキーとはさらに異なるコンストラクションキーで建物すべての錠前を施解錠できるシステムです。工事全体で3本付きます。

注) PRシリンダーのマスターキー装置付きの場合は、ダブルコンストラクションキーシステムはできませんのでご注意ください。



## セキュリティ認証IDシステム

- オーナー以外のキー複製を系統的に防止します。
- セキュリティを向上させる新システム<セキュリティ認証IDシステム>をご用意しました。  
キーの複製には、入居時にオーナーにお渡しするセキュリティカードの認証ID番号と、ご使用の鍵番号の2つを提示して頂きます。この2つの照合確認が取れた場合のみ、ご注文を受付するシステムですので、鍵番号のみでの不正な複製を防止できます。
- オプションとしてご用意しています。



セキュリティカード  
(製品に同梱)

- (注1) セキュリティ認証IDシステムはオプション設定となります。設定をご希望される場合は、キープラン登録の際にご指示ください。
- (注2) セキュリティ認証IDシステムをご採用の場合は、コンストラクションキーシステムの運用が必須となりますのでご注意ください。
- (注3) シリンダーをご発注の際は、キー本数の誤りがないようご注意ください。